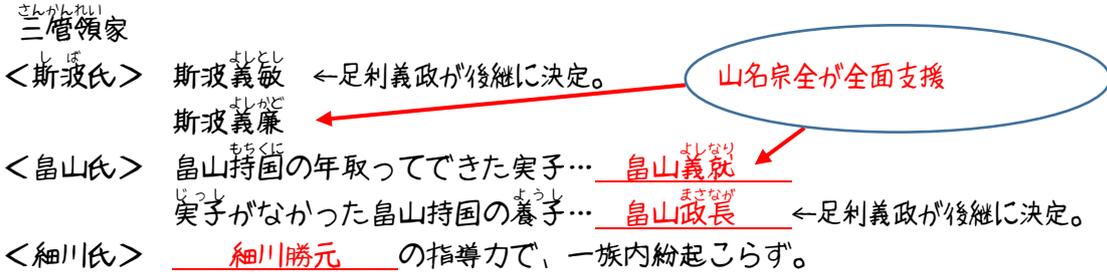


# 048 室町時代 政治史⑪ 応仁の乱

## <山名宗全の野望>

- ① 山名氏清 … 六分の一衆 →しかし足利義満により山名氏は勢力削減されてしまった。
- ② 山名宗全 … 足利義教を暗殺した赤松満祐を討伐 →宗全 1代で 8か国に勢力回復。
- ③ 山名宗全、さらに計略をめぐらし、三管領家の内部分裂をはかる。



## <8代将軍 足利義政 >

- ① 妻は 日野富子。義政の父は魔王将軍こと足利義教だが、義政は優柔不断な性格。
- ② 将軍を辞めて責任から早く逃げたい。子どもがいないので辞められない。
- ③ 28歳の時、弟の足利義視に頼み込んで将軍後継になってもらった。  
 →妻の日野富子、足利義尚を生む。
- ④ 義政の弟 足利義視 ←足利義政、管領細川勝元 支持。  
 義政の子 足利義尚 ←日野富子、全面支援をあの 山名宗全 に頼む。

⑤ 1467年 応仁の乱 勃発。◎が総大将。

西軍	(◎ 西陣)	東軍	(本陣… 花の御所)
<u>足利義視</u>		<u>足利義政</u>	(将軍)
<u>畠山義就</u>		<u>畠山政長</u>	(畠山氏の家督争い)
◎ <u>山名宗全</u>		◎ <u>細川勝元</u>	(管領)
越前守護 <u>斯波義廉</u>		<u>斯波義敏</u>	(斯波氏の家督争い)
貿易競争相手 <u>大内政弘</u>		<u>足利義視</u>	(義政の弟で養子) ←
		<u>足利義尚</u>	(日野富子の息子。2歳)
越前の守護代 <u>朝倉孝景</u>		伊勢貞親	(足利義尚の乳母の夫) ←

⑥ 新戦法の登場…京都市街戦のため 傭兵である歩兵の足軽 が新戦力に。  
 飢餓状態の農民を足軽に雇う。足軽は 相手陣営から略奪し放題 が給料。京都荒廃。

- ⑦ 1470年 山名宗全の子が急死。 →長期化とわが子の死去で戦う気力をなくす
- ⑧ 1473年3月 山名宗全病死。 5月 細川勝元病死。両軍総大将が相次いで病死。  
 →応仁の乱終結の絶好の機会到来！ この時、将軍足利義政は何をしたか？  
 → 将軍を引退して、足利義尚9歳に全てを任せた。自分は別荘を建てて別居した。
- ⑨ 1477年 9歳の9代将軍足利義尚の母 日野富子の努力で応仁の乱終結。  
 足利義視夫人は 日野富子の仲良しの妹

## 048 室町時代 政治史⑪ 応仁の乱

応仁の乱に関連する説明として、正しいものはどれか。(早稲田・商 2020)

1. 畠山・細川氏の家督争いが戦乱の要因の1つだった。
2. 日野富子は養子の義尚を将軍にしようとした。
3. 足利義尚は乱の余波で将軍になれずに終わった。
4. 足利義視は当初東軍のもとにあったが、翌年西軍に移った。
5. 加賀一向一揆は細川勝元の命令で富樫政親を滅ぼした。

応仁の乱についての説明として最も適切なものを選び、その番号を解答用紙の解答欄(25) ↓ (26) にマークしなさい。(慶應義塾・法 2020)

- [01] 将軍足利義政の実子である足利義視を、当初は管領細川勝元が支持していた。
- [02] 山名宗全は、日野富子との関係から将軍足利義政の実子足利義尚を支持し続けた。
- [03] 三管領のうち、細川氏と畠山氏それぞれの後継者争いがこの内乱には関係していた。
- [04] 将軍足利義政の養子である足利義視は、当初は西軍、のちに東軍に属した。
- [05] 管領細川勝元は、将軍足利義政の実子である足利義尚を擁し、西軍の畠山義就と争った。